

議会だより

第167号

平成31年
3月発行

いしみね あみ
題字：石嶺 亞実
屋良小学校4年



も達のすこやかな成長を!!

嘉手納町青少年センター指導員会

KADEN
かでな



平成30年12月定例会 ~主な内容~

平成30年12月定例会 P2・3

町政を問う! 16名の議員が一般質問 P5

題字紹介・サークル紹介 P22

我謝凜香さん(嘉手納中1年)～新春もちつき大会にて～

フラダンスの大会(フラ・ホオラウナ・アロハ 2017) 13歳以下の部門で優勝

嘉手納町議会ホームページ

嘉手納町議会

検索

町議会を傍聴しましょう!! 定例会は3・6・9・12月に開かれます。

12月定例会議案一覧

件名	議決結果
嘉手納町税条例の一部を改正する条例について	原案可決
第5次嘉手納町総合計画基本構想について	原案可決
嘉手納町体育施設、嘉手納町民の家及び嘉手納町兼久海浜公園ウォーターガーデン指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町健康増進センター指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町営住宅指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町漁業用施設指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町集出荷施設指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町商工業研修等施設指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町東区コミュニティーセンター（嘉手納町東区学習等供用施設）指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町中央区コミュニティーセンター（嘉手納町中央区学習等供用施設）指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町北区コミュニティーセンター（嘉手納町北区学習等供用施設）指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町南区コミュニティーセンター（嘉手納町南区学習等供用施設）指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町西区コミュニティーセンター（嘉手納町西区学習等供用施設）指定管理者の指定について	原案可決
嘉手納町総合福祉センター指定管理者の指定について	原案可決
財産の取得について（嘉手納町役場電話交換設備機器購入事業）	原案可決
財産の取得について（嘉手納町マルチメディアセンターパソコン機器等）	原案可決

12月定例会

平成30年第22回（12月）定例会を12月11日から18日までの会期で開いた。本定例会では、今後10年のまちづくりの基本方針である第5次嘉手納町総合計画基本構想、各種公共施設の指定管理者の指定、平成30年度補正予算等を含む議案21件、意見書1件、決議1件を可決した。県民投票に関する事務経費が計上された補正予算案の審議では、賛成反対それぞれの立場から活発な討論が繰り広げられた。

平成30年度 12月補正

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億5,403万9千円	94億8,285万7千円
国民健康保険	2,183万4千円	20億89万8千円
後期高齢者医療	▲ 66万円	2億5,824万1千円
下水道事業	256万5千円	3億6,314万1千円

県民投票事務経費補正予算495万4千円を可決

反対

私の主張!

賛成

知念 隆 議員

県知事選挙において、辺野古移設に反対する玉城デニー氏が大差で当選し、民意は辺野古移設反対であることが示された。

県民投票をするまでもなく、民意は示されている。

県民投票の中身が賛成か反対かの二者択一では県民の正確な民意は表せない。世論の調査ではどちらでもないというのが一番多い。基地問題に関する県民の考えは単に賛成、反対で割り切れるような単純なものではない。

また5億5千万という多大な費用をかけてまで実施しなければならない必要があるのか。大事な県民の税金を政争の具に使うことは許されない。県民同士の対立をあおることは止めて欲しい。

安森 盛雄 議員

県民投票条例を審査した沖縄県議会においては、賛否以外の選択肢を持つ修正案も提出されるなど、全会一致ではなく、多様な県民の意思をあらわすことに対し配慮に欠けるものである。

沖縄県知事選挙において、埋立反対をうたった玉城デニー氏が当選したことは、すでに民意は示されたものと考える。それなのに「再度、民意を問うことに対し5億5千万円の県民の税金をかけ、今回の県民投票で県民を2分することに対して行うことは到底理解しがたいと言わざるを得ない。

県民投票を実行するのであれば当然に選択肢を4択という提案でも検討してよかつたのではないかと思う。

田仲 康榮 議員

沖縄県民はこれまで何度も辺野古新基地建設反対の民意を示してきた。政府は民意を無視し違法・不法な工事を強行している。今回の県民投票は間接民主制を補完する上で県民の賛否を示していく上で意義あるもので、県民の投票の権利が保障され、市町村で実施すべきである。

辺野古新基地は1800mの2本の滑走路、弾薬搭載エリア、米軍強襲揚陸艦接岸の岸壁、200年の耐用年数の基地で2100万m³を埋める最大の環境破壊だ。「普天間基地の固定化か辺野古移設か」の選択ではなく国際法違反の普天間基地は運用停止し閉鎖、撤去すべきだ。

これ以上の米軍基地は要らない。子や孫の未来のため埋立てノーの民意を示そう。

當山 均 議員

住民投票は直接民主主義の一環で間接民主主義の補完制度として認識されており、選挙において住民から選ばれた議員が町民・県民の直接請求に応えていくのは当然の務めである。

地方自治にとって住民が意思を示すことは重要なことであり、町民の意見を議会や行政に反映させるため議会改革を進めている本町議会の基本方針にもかなうものであることから、「住民に身近で信頼される議会」を目指し、議会基本条例を全会一致で制定した本町議会において、住民の民意を表明する機会、投票権を否定し奪うこととは絶対にやってはならない。

◆主な議案などに対する議員の賛否

議 案	件 名	議 決 月 日	議 事 者 数	出席 者 数	議 事 者 数	賛 成 者 数	反 対 者 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
								仲 村	志 友	花 城	宇 榮	古 謝	安 森	奥 間	新 垣	照 屋	仲 村	石 嶺	當 山	田 崎	田 伸	知 念	徳 里	
議案第39号	平成30年度嘉手納町一般会計補正予算 (第4号)	12/18	16	15	12	3	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-

〔○〕：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席

議長は賛否同数以外は採決に加わらないので「-」で表示。

FA-18 戦闘攻撃機の墜落事故に抗議

平成30年11月12日正午頃、米海軍所属のFA-18戦闘攻撃機1機がエンジントラブルにより沖縄本島の東南東290kmの海上に墜落する事故が発生した。事故現場近海は民間船舶が航行し、また好漁場として多くの漁業船が操業しており、幸いにも今回の事故による住民への被害はなかったが、県民に与えた衝撃と恐怖は計り知れない。

嘉手納基地所属の米空軍兵による銃所持脱走事件に対する抗議

平成30年12月6日午後5時45分頃、拳銃と実弾を所持したまま基地外に脱走し行方不明になつていた嘉手納基地所属の米空軍兵が、読谷村内で身柄を拘束される事件が発生した。多数の米軍人が居住する本町の町民に与えた衝撃は計り知れず強い憤りを禁じ得ない。

本町議会は①事件の経緯を徹底究明し、実効性ある再発防止策を講ずること②米軍においては厳格な武器管理体制を確立すること③通報体制を遵守し、正確かつ迅速な

FA-18 戦闘攻撃機の墜落事故に抗議

平成30年11月12日正午頃、米海軍所属のFA-18戦闘攻撃機1機がエンジントラブルにより沖縄本島の東南東290kmの海上に墜落する事故が発生した。事故現場近海は民間船舶が航行し、また好漁場として多くの漁業船が操業しており、幸いにも今回の事故による住民への被害はなかったが、県民に与えた衝撃と恐怖は計り知れない。

嘉手納基地所属の米空軍兵による銃所持脱走事件に対する抗議

平成30年12月6日午後5時45分頃、拳銃と実弾を所持したまま基地外に脱走し行方不明になつていた嘉手納基地所属の米空軍兵が、読谷村内で身柄を拘束される事件が発生した。多数の米軍人が居住する本町の町民に与えた衝撃は計り知れず強い憤りを禁じ得ない。

本町議会は①事件の経緯を徹底究明し、実効性ある再発防止策を講ずること②米軍においては厳格な武器管理体制を確立すること③通報体制を遵守し、正確かつ迅速な



パラシュート降下訓練の様子(1月23日)

情報提供を行うことを決議要請した。

嘉手納基地でのパラシュート降下訓練に抗議

平成31年1月23日午後5時半頃、米軍は嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を強行した。本訓練は、日米特別行動委員会の最終報告において伊江島補助飛行場への移転が合意されており、明らかに日米合同違反である。SACO合意後、嘉手納飛行場での降下訓練は10回を数え、負担軽減逆行し、基地の機能強化に繋がることは明白であり厳重に抗議した。

沖縄県町村議会新人議員研修会

平成31年1月31日に那覇市自治会館にて沖縄県町村議会新人議員研修会が行われ、本島、離島を含め200名近くの議員が参加しての研修会でした。嘉手納町からは花城議員、志喜屋議員、仲村議員が参加し、「定例会の運営」「議員の心構え」「一般質問」をテーマに研修で学びました。

今後この研修を通して議会運営がスムーズに行えるように、また、町民のニーズに応えられる議員になるよう頑張っていく決意を固めた研修会でした。



環境美化センター視察研修 (ごみ・粗大ごみ処理施設)

平成30年12月17日に嘉手納町議会全議員で比謝川行政事務組合環境美化センターの視察研修を行った。

現在、環境美化センターにおいては、ごみ・粗大ごみ処理施設の稼働が20年目を迎え、老朽化が進み維持管理には毎年多額の費用が必要となっている。そのような中、平成29年6月から延命化に向けた焼却炉の補修工事や環境測定装置点検整備、築炉部品等の製作、ごみ計量器システムの更新、基幹的設備改造事業の本体工事が行われており、その説明を受けた。

議員からは、工事の進捗状況や余熱利用、安全性、最終処分場、旧施設煙突の処分等についての質疑があり活発な意見交換後に、工場現場の見学を行った。



町政を問う

題字：奥間 政秀 議員

16人の全議員が

一般質問

-
- 町に考え方を聞く!! 一般質問
- (安森 盛雄・仲村渠 兼栄)
- | | | |
|----------------------|-------|------|
| 安森 盛雄 | | P 6 |
| 台風24・25号の被害状況を問う | | |
| 仲村渠 兼栄 | | P 7 |
| 第2行政センター建設を問う | | |
| 照屋 唯和男 | | P 8 |
| 防災無線の現状と効果の確認 | | |
| 古謝 友義 | | P 9 |
| 水釜・大木線の植栽(アカギ)を撤去せよ | | |
| 宇榮原 京一 | | P 10 |
| 災害時避難行動要支援者の対応は | | |
| 當山 均 | | P 11 |
| 農水産業の振興に向け設備の充実等を求める | | |
| 仲村 一 | | P 12 |
| 鉄軌道を問う | | |
| 志喜屋 孝也 | | P 13 |
| 新町第2駐車場を問う | | |
| 花城 勝男 | | P 14 |
| 高齢化社会(2025年問題)を問う | | |
| 奥間 政秀 | | P 15 |
| 嘉手納町観光振興政策の進捗状況は | | |
| 知念 隆 | | P 16 |
| 各自治会に通信カラオケを設置せよ | | |
| 田崎 博美 | | P 17 |
| 堤防の防災メカニズムを問う | | |
| 田仲 康榮 | | P 18 |
| (知事選) 町長の政治姿勢を問う | | |
| 新垣 貴人 | | P 19 |
| 幼稚園の預かり保育拡充を図れ | | |
| 石嶺 邦雄 | | P 20 |
| マイナンバーカードの推進を | | |
| 徳里 直樹 | | P 21 |
| 公的住宅の管理、居住支援は | | |

(質問順)

問 被害状況について全員協議会で説明があつたがその後の変化は。

答 避難所については9月28日から30日にかけて町役場に避難所を開設、17世帯31人が避難。29日、西浜区コミュニティーセンターに避難所開設したが避難者は0人。施設の被害としては、公共施設15施設でフェンスや建物の一部損壊、敷地内の倒木がある、公園、体育施設においてはフェンスの損壊、ナイター設備の不具合、倒木等、道路において冠水・高波・土砂による損壊・防犯灯・側溝等の破損、さらには護岸・民間家屋等について水釜護岸防護柵が倒壊及び植栽景石が飛散し民間家屋を破損、冠水による車庫・車両への浸水が多数、トタン屋根・瓦屋

問 今回の台風で難聴者は浸水していることすら知らずにいた。

答 一時見舞金を検討しているか。

問 猫の去勢手術費補助を問う

答 信号が稼働しないため危険かつ交通渋滞が長く続いた地域もあった。10月15日に沖縄電力と今後の事について面談をし、役場との連絡体制の構築、情報の提供、危険箇所の情報共有、防災拠点の優先的復旧等について話し合い、今後は、電力側の直接技術者とホットラインで連絡をとれる体制を作る。

問 町として、去勢手術の補助ができるのか。

答 今後、町の現状を調査し実態を検証した上で去勢手術の助成を検討していく必要があるものと考える。

問 公共施設への新たな名称看板設置を問う

答 平成31年度から設置していく。

問 被害状況について全員協議会で説明があつたがその後の変化は。

答 避難所については9月28日から30日にかけて町役場に避難所を開設、17世帯31人が避難。29日、西浜区コミュニティーセンターに避難所開設したが避難者は0人。施設の被害としては、

問 停電時の信号など危険を感じるが行政の課題は。

答 信号が稼働しないため危険かつ交通渋滞が長く続いた地域もあった。10月15日に沖縄電力と今後の事について面談をし、役場との連絡体制の構築、情報の提供、危険箇所の情報共有、防災拠点の優先的復旧等について話し合い、今後は、電力側の直

問 町外の去勢費補助を実施している自治体は。

答 県内では宮古島市・多良間村・国頭村・大宜味村・東村の5自治体が助成を実施。

問 歩行者の安全対策を図れ

答 平成30年3月議会に4番議員から学校施設・公共施設への施設名称看板設置の提案がなされたがその後は、どのような経過かを問う。



安森盛雄

台風24・25号の被害状況を問う

問 根の飛散等7件の報告があつた。その後、役場へ被災証明取得の件数は車両の浸水が22件、家屋浸水が4件、家屋損壊・破損が11件。

問 一時見舞金を検討しているか。

答 嘉手納町小災害罹災者に対す

る見舞金支給要綱を改正し、見

舞金を支給する。床上浸水が住

家使用者1世帯1万5千円、2

人以上の世帯は1人1万円加算

し、上限6万円。店舗、事務所

の場合は1万5千円。自家用自

動車の場合は、使用不能が1台

につき、1万5千円。25万円以

上の修理を要した場合は1台に

つき5千円の支給。

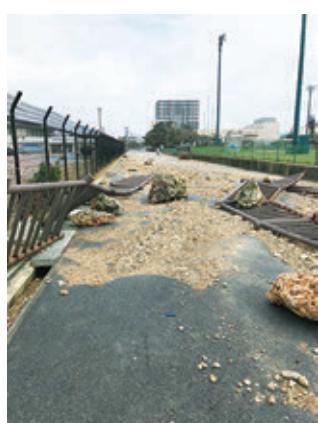
問 今後はデジタル化に伴つて障がい者にも分かりやすい情報伝達ができるようにしてもらいたいが。

答 議員指摘の通り、聴覚に障害のある方にも感知しやすい機器、個別受信機や文字情報による情報提供が可能な機器導入を検討する。

問 国道58号の横断歩道の信号機の時間延長をし、高齢者や障がい者が安心して渡れるようにできなかいか。

答 警察からは現時点では厳しいとの回答をもらつたが、引き続き嘉手納警察署、関係部署に要請を行う。

問 横断歩道を問う



西浜区被災状況

問 猫の去勢手術費補助を問う

答 信号が稼働しないため危険かつ交通渋滞が長く続いた地域もあった。10月15日に沖縄電力と今後の事について面談をし、役場との連絡体制の構築、情報の提供、危険箇所の情報共有、防

災拠点の優先的復旧等について話し合い、今後は、電力側の直接技術者とホットラインで連絡をとれる体制を作る。

問 町として、去勢手術の補助ができるのか。

答 今後、町の現状を調査し実態を検証した上で去勢手術の助成を検討していく必要があるものと考える。

問 公共施設への新たな名称看板設置を問う

答 平成30年3月議会に4番議員から学校施設・公共施設への施設名称看板設置の提案がなされたがその後は、どのような経過かを問う。

問 新たな名称看板設置を問う

答 平成31年度から設置していく。

問 横断歩道を問う

答 平成31年度から設置していく。



仲村渠 兼 栄

第2行政センター

建設を問う

問 本庁舎以外に水道課がある周辺自治体は。

答 沖縄市、うるま市、北谷町、北中城村。

問 100人～200人規模収容の会議室兼ホールの必要性は。

答 現時点では考えていない。

問 町の駐車場について、国道58号から町役場前駐車場への出入口設置の予定は。

答 慎重に検討を行う必要がある。

問 嘉手納郵便局を嘉手納町役場へ誘致ができないか。

答 利用者の利便性が良いことがメリット。デメリットは、費用対効果が明確でない。

問 水道課事務所の移転は可能か。

答 新たな施設への費用負担は厳しい。

災害対応を問う



臺手納郵便局謹致で公共施設の充実を

問 災害ボランティア創設の予定は。

答 創設の予定はない。

問 防波堤周辺住民（西浜区）に
対し避難訓練の予定は。

答 西浜区自主防災組織と連携し
ていきたい。

ICTを活用した防災を

問 ICTを活用した防災を
答 防災計画に基づき社協がその役割を担う準備をしていると聞いています。

問 庁舎2階会議室へ大型マルチモニター設置の予定は。
答 検討中。

問 町全域が把握できるモニター設置の予定は。
答 検討中。

問 災害対象地域へのソーラー給電整備は。
答 バッテリー方式で検討する。

問 災害対象地域へソーラー給電監視力メラ設置は。
答 4・9ギガヘルツ多重無線を活用した監視カメラを予定。

問 町内広報マイクのデジタル化の進捗状況は。
答 現在実施設計中。

問 一括交付金の活用ができるのか。
答 8条補助金と緊急防災減債事業債を活用する予定。

問 備蓄倉庫の管理体制は

備蓄倉庫の管理体制は

問 ICTを活用した防災を
答 防災計画に基づき社協がその役割を担う準備をしていると聞いています。

問 庁舎2階会議室へ大型マルチモニター設置の予定は。
答 検討中。

問 町全域が把握できるモニター設置の予定は。
答 検討中。

問 災害対象地域へのソーラー給電整備は。
答 パッテリーア方式で検討する。

問 災害対象地域へソーラー給電監視力メラ設置は。
答 4・9ギガヘルツ多重無線を活用した監視カメラを予定。

問 町内広報マイクのデジタル化の進捗状況は。
答 現在実施設計中。

問 一括交付金の活用ができるのか。
答 8条補助金と緊急防災減債事業債を活用する予定。

問 備蓄倉庫の管理体制は

野國總管宮公園整備は

問 台風24号発生時の町内備蓄倉庫の利用状況は。

答 施設が休館閉鎖で3施設の倉庫より備蓄食料等を提供した。

問 備蓄倉庫の今後の課題は。

答 事前準備を管理者へ周知する発電機の操作に課題もあり今後は管理者で使用方法を確認する。

問 町のホームページに18施設の備蓄倉庫は掲載しているか。

答 施設管理者と協議し検討する。

問 勤労者体育館横の備蓄倉庫2台の対策とその位置の海拔は。

答 海抜3mの位置で用水路の近くにあり場所選定は公園の再整備計画で検討したい。

野國總管宮公園整備は

問 公園内へ臨時車両（高齢者・障がい者）等の乗り入れは。

答 検討したい。

問 公園内の階段へ手すり設置は。

答 検討したい。

問 雨天時における平和祈願祭・戦没者慰靈祭の対策は。

答 豪雨により通路へ水が溜まり早急に修繕処理した。

問 戦没者慰靈祭の供花（旧字）の風対策は。

答 対策を取る。



照屋 唯和男

**公共整備事業に支障ある
所有者不明墓の現状及び
今後の取り組みと対策は**

問 2016年に墓の使用実態調査がされたが、屋良城跡の無縁墓は。文化財的な墳墓は何基か。

答 一括交付金を活用し屋良城跡公園総合再整備墳墓調査委託業務を実施。

墓と認識されるものが116基。調査の結果107基が所有者不明。そのうち骨があると想定される墓が30基で残り77基が空き墓。文化財的墳墓は、町の文化財・史跡に分類さる大川按司の墓、クニンダガマの2基。

屋良城跡公園総合再整備基本設計において墳墓に影響を与える可能性がある場所で文化財的に重要ではないかと考えられるナグ墓で1基、合計3基は把握。

答 個別受信機の配置を基本的に聞き取りづらい場所には、防災ラジオか個別無線をつけるのか。現段階の状況は。

答 停電しても放送できる。

問 不明墓のある敷地の所有権調査は、誰がやるべきなのか。改

答 装をする義務者か。

答 町有地が約2.7haで、残りの約1.8haについては字屋良郷友会の土地で、116基の墓のうち、26基が字屋良郷友会の私有地に点在。

事業を実施するのが嘉手納町

で、町が字屋良郷友会に存する墓についても改装する。

問 今後の改葬にかかる処理方法は。

答 専門家へ改めて確認。

**民俗資料館及び
青少年センター等の
事業計画と進捗状況は**

問 青少年センターの計画や町民俗資料館等の基本構想の現状は。

答 今年度で民俗資料館等基本計画を策定予定、計画策定後基本設計、実施設計、建設工事を実施予定。

答 青少年センターは特定の児童生徒の教育施設で独立した機能の施設・設備を必要、現在移設先を検討。

問 旧中央公民館の解体はいつか、同時に文化財や資料等をいつどこに移し、どう管理する。

答 2020年度中に解体と考

答 比謝川緑地帯や屋良城跡整備も絡んでくる、同時に進まないどちらかの工事がストップするので各課から担当者を出してプロジェクトチームで問題点を出し合いながら進めでは。

答 民俗資料館等は複合施設で難しさがある。委員会を作りそれぞれの担当課も出てしつかり議論し進めていく。組織の強化も必要。



解体計画のある旧中央公民館

補地を検討中。



古謝友義

水釜・大木線の植栽(アカギ)を撤去せよ

農家の支援策を強化せよ

きな枝も相当数あり、人的被害がなかつたのは幸いだつたと思うが、今後の対策は考えているか。

答 本数などを減らして、適切な維持管理に努めていきたい。

問 台風24号による水釜・大木線の植栽(アカギ)の被害状況は確認しているか。

答 枝周りの太い木が多数折れ、道路上や民間地にまで飛散していた。

問 台風が去つた後の散乱した枝等は誰が片付けたか。

答 道路上に飛散した大きな枝葉は町職員や委託業者が対応し、歩道や道路周辺は住民の皆さんに協力をいただいた。

問 水釜・大木線の道路側に居住している方は、高齢者が多く彼らが道路及び歩道の枝等を片付けているが、町としてどう思うか。

答 樹木が密集している箇所については間引き等を検討していくたい。

問 一人では持てないぐらいの大

きな枝も相当数あり、人的被害がなかつたのは幸いだつたと思うが、今後の対策は考えているか。

答 本数などを減らして、適切な維持管理に努めていきたい。

問 植栽(アカギ)は、年何回剪定しているか。

答 年1回9月ごろに行つてている。

問 これまでも何回となく要望してきたが、植栽(アカギ)を植え替える理由は何か。

答 交通渋滞が発生することから撤去については検討してこなかつた。

問 台風は今後も限りなくやつて来る。早めの植え替えを望むが見解を伺いたい。

答 高木化したアカギを減らしていき、植え替える樹木の選定について検討していきたい。

問 平山団地の農業用水タンクにフィルターの取り付けを。

答 水質�査の結果、フィルターの取り付けは予定していないが、再度農家や農連協に説明したい。

問 レンタカーやバス等が相当数漁港内に出入りしている。別途駐車場の確保はできないか。

答 現在は漁港内の駐車場で十分対応できており、別途駐車場の確保は考えていない。

問 トイレ、シャワー等が絶対不足りない。増設はできないか。

答 新たな設備は県との協議事項であり、既存の施設を利用してもらいたい。



水釜・大木線の適正な管理を

漁業関係者への支援体制を強化せよ



漁港施設の充実を

問 防犯カメラの1台分の増設は可能であり、前向きに検討したい。

答 イモ洗い機(イモ、大根、人参等)の導入はできないか。また、トラクター装着用草刈機の導入はできないか。

問 イモ洗い機(イモ、大根、人参等)の導入はできないか。また、トラクター装着用草刈機の導入はできないか。

問 防犯及び安全のため門扉を閉めたいが、不具合があり、取り替えはできないか。

答 修繕済みであり不具合は解消されている。

問 現在取り付けられている防犯カメラは死角があり、増設はできないか。

答 防犯カメラの1台分の増設は可能であり、前向きに検討したい。



宇榮原 京一

**災害時避難行動要支援者の
対応は**

問 災害弱者とも呼ばれる、災害時に支援が必要となる人に対する行政の対応と地域が行う役割等についていくつか伺いたい。

答 災害弱者とも呼ばれる、災害時に支援が必要となる人に対する行政の対応と地域が行う役割等についていくつか伺いたい。

問 災害時避難行動要支援者は誰ですか。

答 災害時に自ら避難が困難で特に支援を要する者で、避難行動要支援者名簿の対象者は110人。

問 これまでに避難行動要支援者対策としてどのようなことを行つたか。

答 特に支援が必要と思われる81人に避難支援希望確認書を送付し、回答のあつた35人を登録申請を行つた。

問 災害時支援者（民生委員、地域住民等）との連携は。

答 現在、民生委員や地域住民の方々との連携までには至つてお

らず避難行動要支援者の説明等を行つてある状況である。

問 災害発生時に自力避難が困難な方の「個別支援計画」の策定は。

答 個別支援計画の策定までには至つてない。今後は社会福祉協議会、コミュニティソーシャルワーカー、自治会、民生委員、地域住民等と連携に取り組む。

問 災害発生時に自力避難が困難な方の「個別支援計画」の策定は。

答 個別支援計画の策定までには至つてない。今後は社会福祉協議会、コミュニティソーシャルワーカー、自治会、民生委員、地域住民等と連携に取り組む。

問 草木のリサイクル事業の現状は

答 本町で排出されている草木を再資源化する事業を行つていてが現在の状況と今後の取組についていくつか伺いたい。事業の目的は。

問 独自の処理能力で堆肥の再生化が行われているのか。

答 独自で処理を行つてある。

問 今後の取り組みとして、市場への商品化は。

答 一括交付金事業に収益を上げる事業は厳しいため、市場への商品化は慎重に検討する。

問 各種団体と議会との懇談会を受けて

答 上・嘉手納町交通安全母の会との懇談会下・嘉手納町更生保護女性会との懇談会

問 総務財政常任委員会で嘉手納町交通安全母の会と嘉手納更生保護女性会との懇談会を開催した。町交通安全母の会は新会員の加入が進まない悩みがある。行政を中心に各種団体の連携を行えないかとの要望があるが

答 新たな雇用の創出、草木を再資源化することで環境に負荷の少ない循環システムの構築、さらにはリサイクルによりごみ減量化で、ごみ処理処分場の長寿命化を図ることが目的。

答 油圧ショベルと草木破碎機。機械の点検作業、維持管理は委託業者でその修繕費用は産業環境課にて対応。

答 草木搬入量と堆肥搬出量は。

答

年	t	草木の搬入量	堆肥の搬出量
29	650	604	
28	686	504	
27	410	556	
26	226	7.9	
25	177	—	

見解を伺う。

答 社会福祉協議会で町内で活動するボランティア団体の情報交換と相互の親睦を図る感謝の集いを毎年開催しており社会福祉協議会にボランティア登録を頂ければ集いへの参加が可能。

問 嘉手納町更生保護女性会は、活動費が足りず苦慮しております。助金の増額が出来ないか。

答 今後も要望等があれば、その必要性や他の団体との均衡等も踏まえ精査検討し対応したい。

問 嘉手納町更生保護女性会は、活動費が足りず苦慮しております。助金の増額が出来ないか。





當山 均

農水産業の振興に向け
設備の充実等を求める

問 各種団体と議会との懇談会において、農連協及び漁業組合から要望があつた農水産業の振興に向け設備の充実を求める。

【農連協】平山生産団地のトマトハウスにおいて、数年前から立ち枯れ病が発生し年々広がりつつあるとのこと。早急に被害があつた農家、平山の生産者、JA等と協議し対応策の検討を。

答 現在、土壤分析を依頼しており、分析結果がわかり次第、農業改良普及センターやJA営農振興センターなど関係機関と連携し、対処方法等を早急に対応していきたい。

問 【漁業組合】スロープ（船揚げ場）の整備及び船を陸揚げするためのV字型船台の増設を。

答 漁業施設は県の施設のため、県に船揚げ場の補修を打診した



各種団体と議会との懇談会の様子

上・嘉手納町漁業組合
下・嘉手納町農業団体連絡協議会

嘉手納基地被害の
聞き取り調査の再実施を

上原康助氏の功績を讃え
銅像の建立に向け
期成会の立ち上げを

ところ、平成31年度から漁港施設の機能保全事業を予定しており、その機能診断調査結果を踏まえ補修の緊急性等を検討すること。

また、台車の製作費が約140万円と高額であるため、現状の使用頻度や緊急陸揚げの実績等を踏まえ、必要性や費用対効果等を検証していきたい。

問 E・3早期警戒管制機の移転が実現すれば悪臭被害は改善されるが、住民の健康被害に対する懸念は払拭されない。

については、約20年前に実施した「航空機騒音による健康への影響に関する調査」の再実施に向けて、政府及び県に対し積極的に要請していくことを求める。

答 再度、漁業組合等に軽い門扉への取り換えの必要性について確認して判断していきたい。

問 E・3早期警戒管制機の移転が実現すれば悪臭被害は改善されるが、住民の健康被害に対する懸念は払拭されない。

については、約20年前に実施した「航空機騒音による健康への影響に関する調査」の再実施に向けて、政府及び県に対し積極的に要請していくことを求める。

答 沖縄県によると、「平成7年から4年間にわたり実施した健康影響調査は、現在においても有効なデータであると考えている」とのこと。現在、県が国へ新たな環境基準の導入を求めていることから、今後の動向を見ながら対応を検討していきたい。

問 住民が騒音や排気ガスによる生活被害及び健康被害を強く危惧している実情を改めて浮き上がり、早急な「健康影響調査」の再実施に向けた世論を高めるためにも、平成17年度に町が実施した「嘉手納基地被害聞き取り調査」の再実施を求める。

答 前回の調査から12年が経過したことから、同調査の再実施について検討していきたい。

問 故上原康助氏は戦後初の沖縄国政選挙で初当選し、衆議院議員を10期30年務めた。平成5年に沖縄県選出国会議員として初めて国務大臣となる「北海道・沖縄開発庁長官、国土庁長官」に就任した。

平成24年の復帰40年記念式典において、首相や駐日大使らを前に「なぜ両政府とも沖縄県民の切実な声をもつと尊重しないのか」との訴えは、党派・思想信条を超える多くの県民の共感を得たものだと推測する。

答 さて、上原康助氏が逝去され早や1年が経つことから、家族等の意向は確認せねばならないが、町内の中心地に上原康助氏の銅像を建立することを提案する。「(仮称)上原康助氏銅像建立期成会」の立ち上げに向けて町長に尽力頂きたい。

答 通常このようない取り組みは、町民の機運が醸成されることが最も重要であり、地域の先輩方ははじめ、町民の声を聞きながら判断していく必要がある。

問ステップ5を終え鉄軌道の骨格ができる現在のルートはうるま市・恩納村ルートが有力視されているが現在の進捗状況と当局の対応は。

答平成26年10月から3年半をかけて取り組まってきたところである。県民へ情報提供を行い寄せられた意見を計画、検討に反映し進められてきた。

計画案が絞られる前に総合事務局あるいは県知事等の懇談の機会がある時に要請をしてきた。

問ステップ5を終え鉄軌道の骨格ができる現在のルートはうるま市・恩納村ルートが有力視されているが現在の進捗状況と当局の対応は。



鉄軌道を問う



仲 村 一

問今後どのように取り組んでいくのか。

答具体的なルートや駅の位置などについては、次の計画段階において検討されることになつており嘉手納町においても関係機関と情報共有し今後の検討内容に注視していきたい。

比謝川遊歩道を問う

問現在、比謝川大橋から屋良城跡公園まで遊歩道がある道の駅まで延長ができるのか。

答平成25年度において屋良ムルチから比謝川緑地広場予定地までの貴重な水辺空間、自然を活用した取り組みを調査し、事業化に向けて検討している。比謝川上流部は川先が小さく河川上

問北谷町・読谷村との連携は。

答北谷町を経由する形になつており、市町村や交通事業者などと連携して幅広く検討を行つていく事が必要と考えております。隣市町村とも情報共有を図りその後の連携につなげていかなければいけない。

問今年各省庁で障がい者雇用の数字をごまかすニュースが報道されたが、本町の実態は。

答本町においては、これまで継続して障がい者雇用の基準をクリアしていたが、平成29年度で障がい者に該当する職員が退職し、平成30年度は1人不足の状況が発生したため、平成30年度採用に障がい者枠を設けた。1次試験で合格者が1人出たが、2次試験の段階で合格者が辞退したため、平成30年度は1人不足の状況である。平成31年度の職員採用枠に障がい者枠を設け2人の合格者が出ている。平成31年4月に採用されれば障がい者枠の雇用基準を満たす。

障がい者雇用を問う



水陸両用車の導入を

問商工会との懇談会で水陸両用車を導入して商店街の活性化を

答戦前は鉄道があつたから復活すべきとの訴えもあると思うが、これまでの議論は費用対効果が強調されている。嘉手納町を通す案について赤字を解消する方法はあるのかそこを破るような方策が見いだせないのが現状。

問北谷町・読谷村との連携は。

答北谷町を経由する形になつており、市町村や交通事業者などと連携して幅広く検討を行つていく事が必要と考えております。隣市町村とも情報共有を図りその後の連携につなげていかなければいけない。

問今年各省庁で障がい者雇用の数字をごまかすニュースが報道されたが、本町の実態は。

答本町においては、これまで継続して障がい者雇用の基準をクリアしていたが、平成29年度で障がい者に該当する職員が退職し、平成30年度は1人不足の状況が発生したため、平成30年度採用に障がい者枠を設けた。1次試験で合格者が1人出たが、2次試験の段階で合格者が辞退したため、平成30年度は1人不足の状況である。平成31年度の職員採用枠に障がい者枠を設け2人の合格者が出ている。平成31年4月に採用されれば障がい者枠の雇用基準を満たす。

問水陸両用車の導入を

答戦前は鉄道があつたから復活すべきとの訴えもあると思うが、これまでの議論は費用対効果が強調されている。嘉手納町を通す案について赤字を解消する方法はあるのかそこを破るような方策が見いだせないのが現状。

問今後どのように取り組んでいくのか。

答具体的なルートや駅の位置などについては、次の計画段階において検討されることになつており嘉手納町においても関係機関と情報共有し今後の検討内容に注視していきたい。



志喜屋 孝也

では立体型駐車場建設を検討するまでに至っていない。

問 ポーツドーム駐車場設定・避難用地下シェルターは収容人数も多く大きな面積を要し建設費用と敷地の確保が難しい。

問 基地内での緊急車両・救急車等の通過はできるのか。

答 災害時に嘉手納町側の第4ゲート及び第16ゲートから北谷側の第5ゲート・沖縄市の第3ゲートをつなぐルートは通行可能。

問 観光協会の設立は何年か、観光ガイドの進捗状況は。

答 観光協会は平成31年設立予定。観光ガイドの平成29年実績は16件で763人をガイドしている。

問 老朽化した建物の壁面ひび割れ、崩落防止への注意喚起と住宅リフォーム支援事業の利用

答 観光ガイドの平成29年実績は16件で763人をガイドしている。

問 町の活性化・防災対策を

答 観光ガイドの平成29年実績は16件で763人をガイドしている。

問 商工会との懇親会での提案事項

答 観光ガイドの平成29年実績は16件で763人をガイドしている。

問 駐車場の利便性の向上を



駐車場の利便性の向上を

情報があれば、行政が助言できるのか。

答 職員が現場を確認し、物件の所有者や管理関係者に助言を行う。

問 広報かでなに掲載は可能か。

答 町広報11月号でブロック塀安

全点検の普及啓発パンフを折り込み、平成28年10月から町ホームページに建築物管理責任者の

タイトルで、注意喚起を実施している。

問 かでなまちゼミの内容と成果は

答 事業者業種の内訳と総店舗数・参加人数は。

答 事業所が23の講座を実施し216人が参加。町民6割・町外4割の参加があつた。

問 店舗のリピーター増加対策と次回の開催時期、これからの取り組みは。

答 講座を終えたのち、参加者に

対し、次回当該店舗で使えるクーポンの配付や、お礼状を送付。また、アンケートをとりま

とめ、全国のまちゼミとの結果を比較検証し、次回以降も予算

と参加店舗を増やして今年度と同じスケジュールで進める。

問 新町2号館側のシャッター前に駐車はできないか。

答 新町2号館のゴミ収集車の駐車スペースや緊急時の通路の確保のため今後も駐車禁止とする方針。

問 入口側の横に軽自動車駐車スペースは確保できないか。

答 可能ではあるが入口ということもあり、安全面で厳しい。

問 鉄骨による立体型2階・3階建で有料の地域住民、店主、従業員の駐車場の建設は。

答 駐車場整備基準では、2階に20台増やすために数千万円かかる。駐車場に隣接する住民のプライバシーの保護等から現段階

までの費用対効果の懸念がある。

駐車場に隣接する住民のプライバシーの保護等から現段階

問 比謝川及び水釜海岸そして新町通りを観光できる水陸両用車の導入予定は。

答 管理運営者との検討、費用対効果と十分なる検討が必要で町が独自に導入する予定はない。

問 大災害時に道の駅、その他の場所に地下シェルター設置は。

答 対象である。

問 外壁・屋上・屋根・瓦・庇等は対象か。

答 外壁・屋上・屋根・庇の工事は対象。門のブロック塀、鉄格子、庭園などの外構工事も利用可能。

問 ブロック塀からグリーン生垣は。

答 対象である。

問 危険箇所について、町民から

問い合わせる場合は、どの程度の頻度で巡回して対応する予定ですか。

答 月1回程度巡回して対応する予定です。



花城勝男

問 嘉手納町の高齢化と老人福祉施設の現状と課題は。

答 新たな老人福祉施設が整備されれば入居者数が増え、待機者数にも影響するが、人数の把握は困難である。



2か所の老人福祉施設が必要では

問 2018年の老人福祉施設入居者の人数と、入居希望待機高齢者的人数は。

答 町内の老人福祉施設の入居者待機高齢者的人数は。

答 2025年には本町の高齢化率は26・8%で65歳以上の人口は3604人、75歳以上は14・5%で1954人。

問 2025年(将来予想)の65歳以上の高齢化率と人数。75歳以上の高齢化率と人数は。

(2025年問題)を問う

高齢化社会

答 嘉手納町においては既に後期高齢者数が前期高齢者数を上回る状況。本町には老人福祉施設は特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、介護療養型医療施設、認知症対応型グループホーム、訪問看護サービス提供事業所、デイサービス提供事業所が8か所、訪問介護サービス提供事業者が4か所ある。課題としては、今後増加する要支援者、要介護者への必要な介護施設サービスと体制づくりが急務。

問 後期高齢者の自動車運転免証自主返納者に対して、タクシーシートケット100枚×500円(5万円)の返納奨励支援策を提案。

問 民俗資料館計画を問う

答 後期高齢者交通安全対策として、自動車運転免許証自主返納奨励対策の実施を提案。

問 民俗資料館と青少年センター所に建設計画を進める予定か。

答 現在のところ検討していないが、高齢者支援の視点から、今後は調査研究する。

問 2025年(将来予想)の老人福祉施設入居希望待機高齢者的人数は。

答 新たな老人福祉施設が整備されれば入居者数が増え、待機者数にも影響するが、人数の把握は困難である。

答 嘉手納町の高齢化と老人福祉施設の現状と課題は。

問 2018年の老人福祉施設の入居者数は114人、待機者は31人。

問 2025年(将来予想)の老人福祉施設入居者数は。入居希望待機高齢者的人数は。

答 室内天井の一部剥落箇所や建物周辺で危険個所は業務上必要な場合を除き立ち入り原則禁止。民俗資料室への学校や団体などでの室内外の安全対策は。

答 室内天井の一部剥落箇所や建物周辺で危険個所は業務上必要な場合を除き立ち入り原則禁止。民俗資料室への学校や団体などでの見学の受け入れを制限。

問 何年度に民俗資料館を取り壊す予定なのか。

問 民俗資料館基本計画策定(計画、設計、開館)の進捗状況は。

答 今年度基本計画を策定し、次年度以降に解体設計、基本設計、建設工事を経て2025年度ごろ開館の予定。

問 嘬手納町の無縁墓を問う

嘉手納町の無縁墓を問う

問 開館から45年が経過し、安全面が危惧されるが、取り壊しまでの室内外の安全対策は。

答 室内天井の一部剥落箇所や建物周辺で危険個所は業務上必要な場合を除き立ち入り原則禁止。民俗資料室への学校や団体などでの見学の受け入れを制限。

問 何年度に民俗資料館を取り壊す予定なのか。

答 比謝川周辺には116基の墓があり、そのうち77基が空き墓、祀墓に移動する方法を提案。

答 比謝川周辺には116基の墓数が100基以上あるので、職員だけで移動対応は厳しいため、議員から御提案のあつた民間企業に委託した場合にどれくらいの費用がかかるのかも含めて調査研究していきたい。

答 2020年度に解体ができると考えている。

問 民俗資料館と青少年センター所に建設計画を進める予定か。

答 民俗資料館等基本構想において、それぞれの計画で事業計画を進めることと決定した。



2020年に解体予定!



奥間政秀

嘉手納町観光振興政策の
進捗状況は

問 インバウンド（訪日外国人旅行者）に対するクレジットカード払いや免税等の設備整備の状況は。

答 道の駅かでなにおいては、中国人観光客が多くクレジットカード、アリペイ、ウイーチャトペイ等の決済方法を導入する予定で、指定管理者及びテナント会を中心に準備を進めているところである。

問 多言語に対応したパンフレットやホームページの整備状況は。

答 多言語に特化したパンフレット作成やホームページについては次年度以降整備を実施していく。

問 町内での観光客へ滞在時間延長への取り組みの現状は。

答 民泊受け入れがあるのか、ニーズの検証をしていきたいと

考へていて。他にも体験プログラムや観光コース商品等の開発を観光協会設立後に進めていくと考えている。

問 「道の駅かでな」の来客数の集計方法の改善策は。

答 現在沖縄県の事業でIOC活用促進ネットワーク基盤構築実証実験で、ネットワークカメラで人数・性別・年齢層を集計するシステムの実証実験を10月9日から3月15日まで実施しており、これまでの集計方法と比較検証を行い、導入を考えている。

問 観光協会設立に向けた具体的な進捗状況は。

答 観光協会設立に対する理解を深めるため町民を対象に、12月27日と2月に観光講演会を開催し、1月から観光協会設立検討準備会を設置し議論を進めていきたいと考えている。

問 国土交通省等の訪日外国人受入環境整備緊急対策事業補助金の活用は検討されているか。

答 現在観光事業の補助金については沖縄振興特別推進市町村交付金を活用しているが、議員提案の活用等も沖縄観光コンベンションビューローが窓口であり、情報を収集して嘉手納町に合致

するものであれば、検討したい。

も含めて引き続き嘉手納警察署と調整協議していく。

問 嘉手納葬斎場の町民が望む利便性の高い施設とはどのように考えているか。

答 葬斎場は建築後30年経過し、建設当時と現在では利用者のニーズの変化もあり、今後は家族葬から大規模葬儀まで可能な完全バリアフリー化や天候に左右されない利用者に優しい整備が町民から望まれる施設と考えている。



国土交通省の予算を活用し水陸両用車の導入を

嘉手納町墓地整備
基本計画を問う

問 葬斎場入口の久得牧原線の将来に向けての交通渋滞解消の具体的な対策は。

答 現状を改善するため嘉手納警察署へ時差式信号機への変更ができるいか協議を行つてきたが、時差式信号機は原則丁字路に設置する信号機であり当交差点は、丁字路ではなく十字路として認識しており、時差式信号の設置は困難であるとの見解であつたが、議員提案の時差式への変更

を考えている。他にも体験プログラムや観光コース商品等の開発を観光協会設立後に進めていくと考えている。

問 町内での観光客へ滞在時間延長への取り組みの現状は。

答 民泊受け入れがあるのか、ニーズの検証をしていきたいと

問 平成30年度の議会と各種団体との懇談会において、自治会長会から各自治会に通信カラオケ設置の要望があつたが、現時点において自治会に対する通信カラオケの設置について町の見解を伺う。

答 各自治会に設置されているカラオケは導入から20年近く経過しており、経年劣化による機器の不具合が多発しているので改めて機器を設置することは理解している。通信カラオケ導入については否定していない。

問 カラオケの通信費を補填するためコミニユニティ助成金の創設ができないか。

答 カラオケの導入、運営方法をいかにするかを検討する段階にあり、通信費の補助を前提とした助成金は考えていない。

問 平成30年度の議会と各種団体との懇談会において、自治会長会から各自治会に通信カラオケ設置の要望があつたが、現時点において自治会に対する通信カラオケの設置について町の見解を伺う。

各自治会に
通信カラオケを設置せよ



知念 隆

問 福祉交通の早期実施を図れ

答 交通弱者対策は本町においても重要な課題であり、現在、福祉交通の取り組みが検討されているが進捗状況について伺う。これまで検討委員会は何回行われ、どのような提案があつたか。会議の内容と委員の人数は。

答 内容としては予算決めてから対象者を選定する事。デマンド交通やコミニユニティバスを検討する際はバス停の待合所を役場や道の駅等の室内に設置できないかなどである。委員は9人。

問 平成31年度に実施の見込みは。



通信カラオケの導入を

答 平成31年度に実証実験ができるよう取り組んでいる。

問 高齢者の外出支援について、現在の取り組みは。

答 現在、実施している事業としては一般的の交通機関を利用する事が困難な在宅の高齢者に対して介護タクシーを利用して自宅から町外の病院や町内の公共機関への送迎を行っている。



高齢者の外出支援を

問 死亡届手続きの窓口を一本化できないか。

答 本町の場合、関係窓口が近接しており、多くの方が一階のフロアのみで手続きが完結している。届け出件数も少なく手続き的に負担が多い状況ではないので死亡届のワンストップ化の必要性は低いと考えている。

問 町のホームページに死亡届に関連した手続きの流れが町民に分かるようなサイトの開設ができないか。

答 現在、町のホームページにも死亡に関連したサイトは開設されているが、サイトの内容については先進自治体と比較するとまだまだ不十分であり、関係課と協議しながらその充実に努めたい。

問 人が亡くなった時の手続きは各課にまたがり複雑な手続きにとまどう方も多くいると聞いています。現在、本町における死亡届以降の手続きはどうなっていますか。

死亡届手続きの窓口
ワンストップ化を図れ

答 まず、死亡届が提出されたら戸籍係で内容等を確認する。次に住民票の除票処理を行う。その際、「手続きについてのご案内」という帳票が出力され、その案内に従って各種の手続きに移る。

問 死亡届に関連する窓口を一本化できないか。

答 本町の場合、関係窓口が近接

西浜区に設置されている堤防は高潮、津波から後背地を防衛する役割を担つており「海岸保全施設」と呼ばれる構造物である。損壊した堤防被覆式ブロックを見ると無筋の上にコンクリートセメントで被覆式ブロックの底が洗堀されやすい欠陥構造であることは明らかだ。

強靭な護岸設備を設置すべく県の関係機関に防止策の提言をすべきと思うがいかがか。

答 水釜海岸堤防の構造的な問題について、沖縄県において早急に災害復旧に向けての対策を講じているとのことであり、また次第被害のあつた住民地区、関係自治体に対し今後の対策について説明を行うということであつた。

既存の防波堤の構造について

問 西浜区に設置されている堤防は高潮、津波から後背地を防衛する役割を担つており「海岸保全施設」と呼ばれる構造物である。損壊した堤防被覆式ブロックを見ると無筋の上にコンクリートセメントで被覆式ブロックの底が洗堀されやすい欠陥構造であることは明らかだ。

強靭な護岸設備を設置すべく県の関係機関に防止策の提言をすべきと思うがいかがか。

答 水釜海岸堤防の構造的な問題について、沖縄県において早急に災害復旧に向けての対策を講じているとのことであり、また次第被害のあつた住民地区、関係自治体に対し今後の対策について説明を行うということであつた。



住宅地の被害状況

問 「今般の台風24号の被害は想定外である」との言質について、想定外という言質は住民の思い十分寄り添つていないと断ぜざるを得ない。なぜなら平成30年は29個の台風が発生し、諸々の被害を被つてゐる。それらの立証検分がなされていたら想定することができ対策もとれるわけで、被害者を泣き寝入りさせることがあつてはいけないと思うがいかがか。

答 台風24号の被害は想定外であるとの言質ということについては、護岸を管理する沖縄県の本町に対する対応についての件と認識している。台風24号による堤防の損壊については、台風通過直後から都市建設課において中部土木事務所へ被災状況の報告や対応について依頼を行い去る10月24日に當山町長が沖縄県知事に対し、より強靭な護岸整備の実施、復旧工事に係る工事工程の説明、被災住民への県による被害調査の実施を要請している。それらの話し合いの中で、台風24号の被害についての県側から予想していらない事態であるとの言葉があつたということである。



水釜護岸の被害状況

問 この海岸の自然に魅了されてこの地に移り住んだわけで、災難を知りながら危機への接近をしたのではない。今まで抜本的な対策が取られていないための失策が要因である以上は、その被害に応じた見舞金が給付されるべきと思うが水道料金、固定資産税、軽自動車税等の負担軽減化を図るべきと思うがいかがか。

答 今回、見舞金を見直して店舗、事務所、動産、車等を対象に、町独自の制度を作つて予算に計上している。損害に対する税の軽減、当然その現行制度で対応されていくし、今回の被害がそれに該当するものなのか申請等を見ながら判断していく。

問 田崎博美

堤防の防災メカニズムを問う

問 平成30年は幾多の台風が襲来し甚大な被害を被つてゐる。被害実態記録を分析し、災害に脆弱な地域環境に位置している要因を検証の上での災害対策をとるべきと思うが見解を伺う。

答 防災ハザードマップの作成にあたつては、沖縄県の津波、高潮被害想定調査というもので被害の想定される台風のルートと台風が870 hPaの場合の最大の潮位になつた場合の浸水を想定したシミュレーションの結果を踏まえている。特に現地調査を行つて、それを基にといふことではない。

また台風の襲来のたびに対策を取つてゐることも早い時間から避難勧告を出し、被害を最小限に食い止めるべくあらゆる情報活用すべきと認識している。



い態度とは考えられない。町民
両面あることを考へるべきであ
り、「町民党」としてふさわし
い態度とは考へられない。町民
見た町民から驚きの声が聞こ
えた。本来、町長が取るべき態
度ではないと考える。町長は町
民との懇談会の席上でこの件を
問われ「町民のために何が一番
いいのか、どうすればいいのか
を考へての結果だ」と弁明して
いる。これでは町民の疑問に応
えたとはいえない。町民の考え
には町長の姿勢に反対・賛成の
両面あることを考へるべきであ
り、「町民党」としてふさわし
い態度とは考へられない。町民

選はオール沖縄が推す玉城デニー候補が相手候補に約8万票差で勝利した。當山宏町長は「町民党的」立場を取るべきなのに自民・保守系の相手陣営に組みし、総決起大会で推せんの訴えを行つた。大会模様のビラ

問 C V - 22 オスプレイ配備反対、MV22・オスプレイ撤去、普天間基地県内移設反対の「建白書」の立場はどうなるのか。
答 基本的に建白書を支持する立場に変わりはない。ただ、地元自治体の意向については、尊重すべきではないかと考えている。



当選した玉城デニー知事（2018年9月実施）



田仲 康榮

の立場も辺野古の新基地建設反対の民意は明確に示されたが、町長の態度は正しかつたと考えているのか。

答 町政運営の姿勢は町民本位を掲げている。知事選も町民利益を最優先に物事を考へ行動しており、間違つていたとは考へていない。

問 「町民党」的立場とは何か。
答 私の1期目の選挙は保革を超えた多くの町民の支持を得た。私の町民の立場は一党一派に偏らず町民を最優先に考える政治的立場だ。時と場合に応じて柔軟に判断し物事に対処していく必要がある。

給付型奨学金制度の創設を

問 沖縄県における子どもの貧困率は29.9%で全国平均の倍以上。平成28年度の国民生活基礎調査において1人世帯で手取り122万円未満、4人世帯で244万円未満が「相対的貧困」とされ「普通」とされる生活が享受されていない。とりわけ母子家庭等の子どもの教育費は大きな比重となり、高等教育を受けるのに大きな困難をかかえている。家庭の貧困のため学力はあるが高等教育を断念する子がいる。公的な教育費助成が必要であり、給付型奨学金制度の創設が重要な課題だ。

答 給付型奨学金制度の導入は財源の問題やどのような基準で制度設計するのか、こつこつ償還してきた方との公平・公正な制度設計が難しいと考えている。

十分な検討が必要となつてくる。子ども未来県民会議や県内のいくつかの市町村で実施しており、今帰仁村・竹富町・北谷町他市レベルでも実施している。

基地内での英語研修を問う

問 外務省沖縄事務所が「新学習要領」で2020年から小学校に英語の強化を導入する件で教科を担当する教諭を対象に基地内で研修の機会を提供することが判明した。同研修に本町からも2校から2人が参加。同研修は米国総務省教育局の全面協力で実施されるもので平和教育とも矛盾するもの。研修に参加するのには問題だ。

答 効果的な指導方法を直に学ぶ事で教師自身の指導力の向上につながると考え研修プログラムに参加させた。第1回目は11月27・28日に実施。沖縄市、宜野湾市、本町から20人が参加。今後も参加させたい。

問 本町の町立幼稚園は国際化・情報化に対応した心豊かにたくましく生きる幼児の育成を教育目標に掲げ、明るく元気な子、思いやりのある子、よく考える子の教育に取り組んでいる。

現在、教育の時間終了後、午後2時から5才児の預かり保育を実施しているが、次年度の制度拡充の内容等に関して、次年度から3、4歳児まで拡充する事への経緯は。

答 アンケート調査を行った結果、預かり保育の拡充を求める声が多く、そのニーズに応えるため実施する。

問 待機児童の解消への影響は。

答 3歳以上の待機児童数の緩和が見込まれる。

幼稚園の預かり保育拡充を図れ



新垣貴人



子育て環境の充実を

問 沖縄西海岸道路計画は、広域幹線道路計画だが、その道路計画の一部に嘉手納バイパス事業があり、交通混雑の緩和と沿道環境の改善を目的とする道路である。以前もこの問題に関し、一般質問を行つたが現時点の状況は。また、町としての基本方針は。

答 陸上案は、課題が多く再考を要請している。海上案は、嘉手納バイパス整備によるメリットを協議中だ。

問 南部国道事務所から事業の着手について打診はあるか。

嘉手納バイパス事業の状況は

問 平成最後となる今年の漢字は、「災」だ。自然災害の脅威を感じた1年であり災害の経験から全国的に防災意識が高まり、多くの人が自助共助の大切さを再認識した1年だった。本町でも9月末に襲来した台風24号の影響で甚大な被害を被った。町民が、1日も早く今まで通りの日常生活を過ごせるよう早急な行政の措置を求め、今後の復旧対策を伺うが、被災した施設や箇所の再建策は。

答 精査検討し、必要性を判断。

問 補助団体からの補助金増額や備品購入、施設修繕等の要望や相談の際、対応は。

答 約39団体。約1億5千万円。

問 設計案がまとまり、次年度の着工に向け、仮事務所への移転等、準備を進めている

答 現行案を了承しておらず、事業の着手への打診はない。

問 見舞金を支給し災害罹災者の支援を行う。

町の補助団体への対応は

問 議会は、各種団体との懇談会を開催した。活動する上での課題や問題、意見要望等を傾聴させて頂いた。各種補助団体が活動していく際に行政支援を求められた場合の対応は。町内の補助団体数と補助金総額は。

答 現行案を了承しておらず、事業の着手への打診はない。

問 被災した町民への対応は

答 見舞金を支給し災害罹災者の支援を行う。



待望の建替事業がスタート

西浜区自治会事務所
建替事業の状況は

問 西浜区民や各種団体の活動の拠点となる重要な施設だ。現在の実施設計の進捗状況は。

答 設計案がまとまり、次年度の着工に向け、仮事務所への移転等、準備を進めている

答 今年度中に全て修繕を行う。

問 被災した町民への対応は

答 見舞金を支給し災害罹災者の支援を行う。

問 マイナンバーカードの利用が始まってから3年以上が経過している。今後、嘉手納町ではどのようなメリットがあるのか利便性をしっかりと町民に伝え、積極的に推進を図るべきではと考えるが、嘉手納町での現在の交付率は。

答 平成30年10月末時点での交付率は5・9%、810件。

問 駅はこれまでにマイナンバーカードの交付を促進するために、どのような取り組みを行ってきたか。

答 当初はポスターの掲示やパンフレットを窓口カウンターに設置し、申請の呼びかけを行った。現在では窓口において公的な身分証を必要とする方へ、申請の案内や補助をし、交付を促す取組みを行っている。



石嶺邦雄

マイナンバーカードの推進を



今後便利になるマイナンバーカード



子ども・女性議会の開催を

問 現在、嘉手納町では女性の議員が数十年近くもない状況で、町民サービス充実のために女性議員や若い議員の誕生が望まれるが、子ども議会の開催を検討したことはあるか。

答 総務省より質問の内容のサービスが提案されている。嘉手納では、まずコンビニ交付など、町民が利用しやすいサービスの導入を近隣市町村や国の動向を注視しながら検討していく。

問 今後、どういう方法で交付率を上げる考えか。

答 平成31年度にコンビニ交付導入を予定しており、その時期に合わせて交付促進の案内をかける予定。

問 現在、嘉手納においては2名の方が女性議員として活躍していたが、平成元年の1月以降、女性議員は誕生していない。女性が政治参画するための機会として、女性模擬議会の開催も今後、検討する必要性があるものと考えている。

問 行政で実施しない場合は議会主導での実施も考えられるが、その場合は協力できるか。

答 協力依頼があれば検討している。

問 警察署への信号機の要請はそのまま時差式にできないか。

答 丁字路でないため設置は困難。

問 久得橋、東駐車場前の信号機を時差式にできないか。

答 警察署への要請はその都度やっているのか、それとも年に一回だけか。また、時差式にできない場合は、町独自で対向車線に譲つてもらうような看板設置をして対応できないか。

答 警察署への要請はその都度行っている。担当課でも看板設置を考えている。今後、文言についての検討をして看板等で対応していく。

子ども・女性議会の開催を

選舉へ立候補し、当選している方もいるようだ。

嘉手納においては2名の方が女性議員として活躍していたが、平成元年の1月以降、女性議員は誕生していない。女性が政治参画するための機会として、女性模擬議会の開催も今後、検討する必要性があるものと考えている。

問 現在、嘉手納町では女性の議員が数十年近くもない状況で、町民サービス充実のために女性議員や若い議員の誕生が望まれるが、子ども議会の開催を検討したことはあるか。

答 子ども議会の開催について検討したことではなく、現時点においても開催する考えはない。

問 女性議会の開催を検討したことはあるか。

答 近隣市町村における女性議会の開催状況を確認したところ、糸満市や北谷町において行われているようで、北谷町では女性議会に参加した方が町議会議員に選ばれた。

問 行政で実施しない場合は議会主導での実施も考えられるが、その場合は協力できるか。

答 協力依頼があれば検討している。

問 警察署への信号機の要請はそのまま時差式にできないか。

答 丁字路でないため設置は困難。

問 久得橋、東駐車場前の信号機を時差式にできないか。

答 警察署への要請はその都度やっているのか、それとも年に一回だけか。また、時差式にできない場合は、町独自で対向車線に譲つてもらうような看板設置をして対応できないか。

答 警察署への要請はその都度行っている。担当課でも看板設置を考えている。今後、文言についての検討をして看板等で対応していく。



徳里直樹

公的住宅の

管理・居住支援は

問 住宅セーフティネット法が制定され、住宅確保要配慮者、低額所得者、高齢者、障がい者等が安心して暮らせる住宅の確保を実現するため、公営住宅の彈力的な活用、適正な管理、供給を図り、また民間賃貸住宅の活用、福祉政策との連携を強く推進している。公的住宅、町民再開発住宅等の管理について、関係法律の改正に伴い、住宅管理への対応及び住宅確保要配慮者への居住支援について方針を伺う。保証人の確保が困難な入居希望者への対応は。

答 法人を保証人としてできる家賃保証制度を案内している。

問 家賃滞納者への対応、支援は。

答 入居者の収入状況や事情を考慮し、計画的に納付できるよう対応している。



住宅政策のさらなる充実を

問 家賃の減免制度がある。対象になる方に制度を活用する説明はしているか。

答 対応、調整している。

問 公営住宅入居者である認知症患者等の収入申告義務の緩和への対応は。

答 入居者の収入状況を分析しながら、検討する。

問 公営住宅の明渡請求の対象となる高額所得者の収入基準を条例で定めることができるとなるが本町の対応は。

答 慎重に検討する。

問 グループホーム事業（虐待を受けた児童等・認知症高齢者・精神障がい者・知的障がい者・身体障がい者・ホームレス）等、公的住宅の活用は。

答 困難だと考えている。

問 公的住宅の建て替えであるが、なぜだめだという結論が出されたのか。その経緯は。

答 改めて基本設計の中での機関と再確認をしていきたい。

問 2020年4月1日に予定される民法改正法に伴い、公的住宅制度に関する住宅管理への対応・方針は。

問 居住支援協議会の概要是。

答 低所得者、高齢者、障がい者、子どもを育成する家庭、その他住宅の確保に特に配慮を要する方が民間賃貸住宅に円滑に入居できるよう推進する組織。

問 住宅セーフティネット法に基づく支援内容は。

答 入居を拒まない住宅として登録し、住宅確保要配慮者への住宅提供制度。

問 県居住支援協議会への参画及び設置への方針は。

答 設置の予定はない。

問 公的な施設、民間の施設の情報共有し、支援が受けづらい、受けにくい人々、事業所の方々にしつかりと光が届くようにできいか。

答 役場全体で、都市建設課のみならず、福祉課、子ども家庭課も含めて、役場全体で情報共有をしつつ対応していきたい。

問 近隣市町村の情報を収集し、必要な措置をとる。

田仲康榮議員が沖縄県介護保険広域連合議会議長に就任



（2市9町18村）で構成される沖縄県介護保険広域連合の議会議長に就任した田仲議員は、「構成市町村の介護保険の適正運営のため力を尽くしたい」と就任の意気込みを語りました。

平成30年11月21日に行われた沖縄県介護保険広域連合議会において、本町の田仲康榮議員が沖縄県介護保険広域連合議会議長に選出されました。

題字紹介

議会だより



いしむね あみ
屋良小学校4年 石嶺 亜実

今回、「議会だより」を書いて、「議会だより」の議の画数が多くあまりバランスが取りにくく難しかつたです。

だけども、あきらめずやつたので綺麗な「議会だより」という文字を書けて嬉しかったです。

徳里直樹議長が沖縄防衛局長より功労表彰を受ける



平成30年12月10日、徳里直樹嘉手納町議会議長が、中嶋浩一郎沖縄防衛局局長より、国の防衛と日本安全保障体制の重要性等を深く認識し、永年にわたり一貫して沖縄における防衛施設の安定使用と防衛基盤の育成等に尽力し、防衛行政の遂行に多大な貢献をしたとして表彰をされました。

田崎博美議員が中部広域市町村圏事務組合より功労表彰を受ける



1月まで中部広域市町村圏事務組合議会の副議長として中部地区の行政の発展に多大な貢献をした功績に対し贈られたものです。

平成22年11月から平成25年1月まで中部広域市町村圏事務組合議会の副議長として本町の田崎博美前議長が功労表彰をされました。

平成30年11月23日に行われた中部広域市町村圏事務組合設立30周年記念式典において、本町の田崎博美前議長が功労表彰をされました。

サークル紹介



毎週木曜日、午前10時から11時30分までロータリー・プラザ1階のシルバー支援センターで開催。初めに『嘉手納町歌』を歌い、ラジオ体操やちやーがんじゅう体操、頭の体操などをを行い介護予防のための活動をしています。興味のある方はぜひ参加して下さい。

現在会員募集集中。共同代表は安森盛良さん、知念典枝さん、大城國英さん。

問い合わせ先は嘉手納町役場1階地域包括支援センター（宮國）まで。TEL：098-956-10849

サークル募集!!

サークル紹介コーナーへの掲載をご希望のサークルは、議会広報調査特別委員会までご連絡ください。

「じんぶん俱楽部 同好会」

●発行・嘉手納町議会 ●編集・議会広報調査特別委員会 基地被害苦情110番
〒904-0293 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納588番地 TEL098-956-3113 FAX098-956-3100 TEL 0800-200-2665